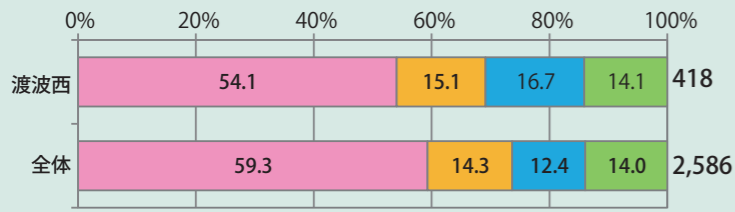


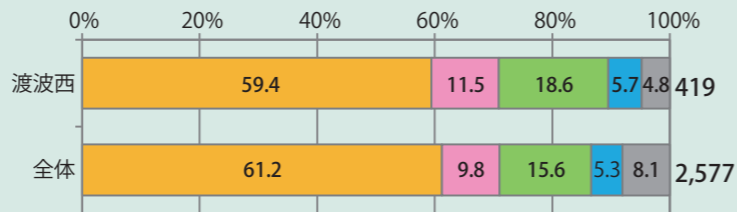
## アンケート結果

平成25年12月から平成26年1月にかけて、被災時に東部地区にお住まいの約6,000世帯の方に、アンケートを実施しました。主な設問と結果は、次のとおりです。

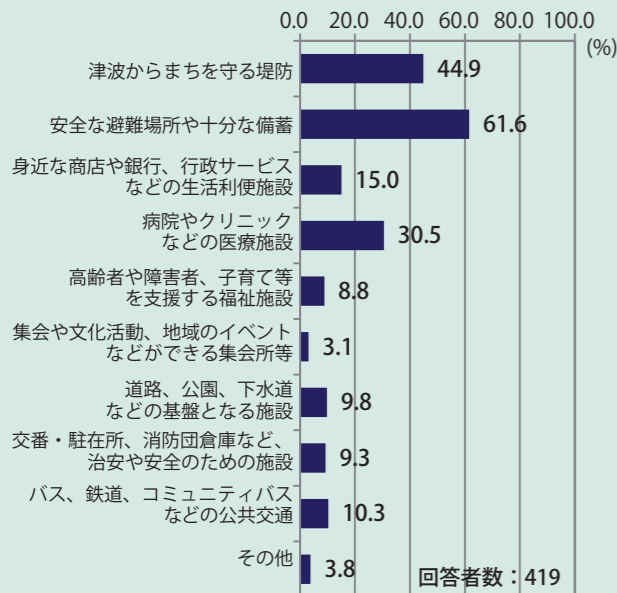
### ●現在のお住まい



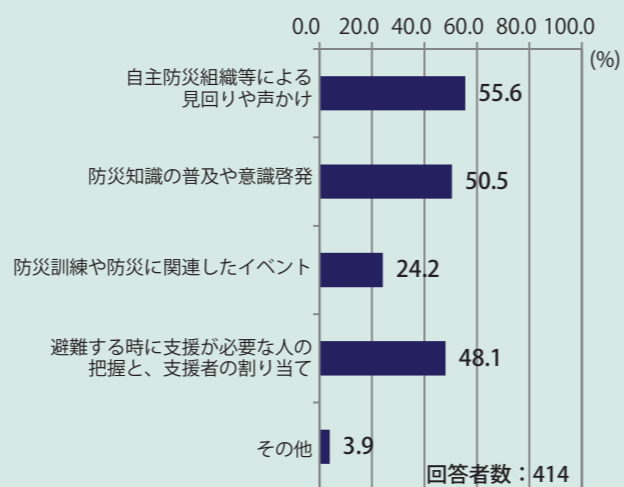
### ●今後のお住まい



### ●住み続けるために重要と考えられる施設



### ●安全・安心のために有効と思う活動



## 今後の進め方

皆様からいただいた意見について、市では新たな財政措置が必要な課題や、より積極的に解決に取り組むべき案件などを整理・調整し、市としての方針や方向性のとりまとめを行いました。

それを、湊地区の町内会長連合会、渡波地区の行政区長会にてお示した後、市が策定する震災復興基本計画実施計画へ反映させるなど、具体化させていきたいと考えています。

## お問い合わせ先

石巻市 復興政策部 地域協働課  
 TEL：0225-95-1111(代表)  
 FAX：0225-22-4995  
 E-mail：iscviact@city.ishinomaki.lg.jp

皆さまのご意見をお待ちしています



# 東部地区復興まちづくり だより Vol.1

## 根岸地区

### 鹿松・際・原・千刈田

石巻市では現在、“どうすれば安心して暮らし続けることができるのか” “どうすれば仮設住宅等にお住まいの方々が戻ってこられるのか” をテーマとした東部地区\*の復興まちづくりに、住民の皆さんとともに取り組んでいます。

その一環として、昨年11月末から地区別に2度の意見交換会を開催しましたので、その結果をお知らせします。

\*東部地区とは・・・  
 旧北上川より東側の市街地のうち、津波による被害が大きく、かつ土地区画整理事業等の事業を行わない地区を指します。



平成26年8月  
 石巻市 復興政策部 地域協働課

**第1回意見交換会を開催しました【平成25年12月16日（月）会場：黄金浜会館 住民出席者：34人】**

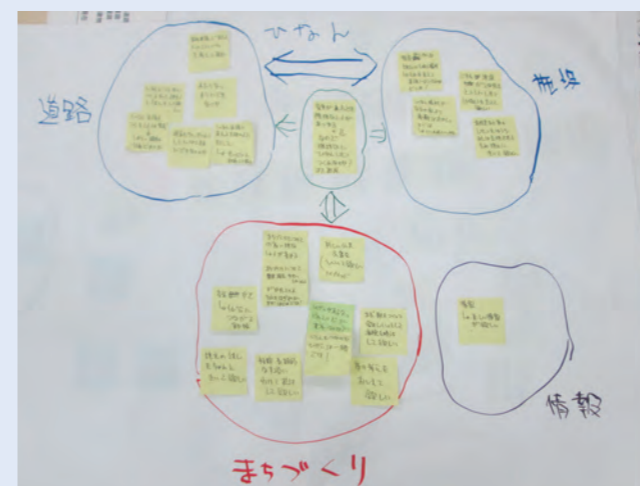
平成25年12月16日 黄金浜会館にて、渡波西地区（栄田・黄金浜地区、根岸地区）の合同意見交換会を取り行いました。

主な意見：

- ・車で牧山へ逃げる道、避難路、駐車場等を確保して、渋滞しないようにしてほしい。
- ・防災無線が聞こえづらい。
- ・夜間、街路灯が少なく道が暗い。街灯をもっと短い間隔（市の80m基準や電柱の有無に関係なく）で整備してほしい。
- ・流留真野沢田線は、避難路として非常に重要である。早く整備をしてほしい。
- ・渡波稲井線だけでは心細い。同じような南北道路を他にも作ってほしい。
- ・渡波稲井線に接続するための東西道路も整備してほしい。
- ・渡波稲井線にかかる根岸会館は現在利用頻度が高い。代替りの施設の確保、また、新たに施設を作った後に根岸会館を壊す等、計画で配慮してほしい。また、代替地について早く説明してほしい。
- ・渡波地区に新駅を作ってほしい。渡波が始発となる東北本線に乗り入れる快速電車を通してほしい。
- ・渡波中学校、女子高の跡地には道の駅や公園のような、地域の住民が交流できるような施設を作ってほしい。
- ・車で避難できない、歩いて避難する人のために近場に避難できる津波避難タワーを作ってほしい。
- ・日頃からの避難訓練、お年寄りの方や体の不自由な人も助け合って逃げられるようなコミュニティづくりの検討もしてほしい。
- ・新市街地や復興公営住宅の中に、住民が集える集会場・コミュニティ施設等を設けてほしい。また、それに伴った新たな自治会も検討してほしい。

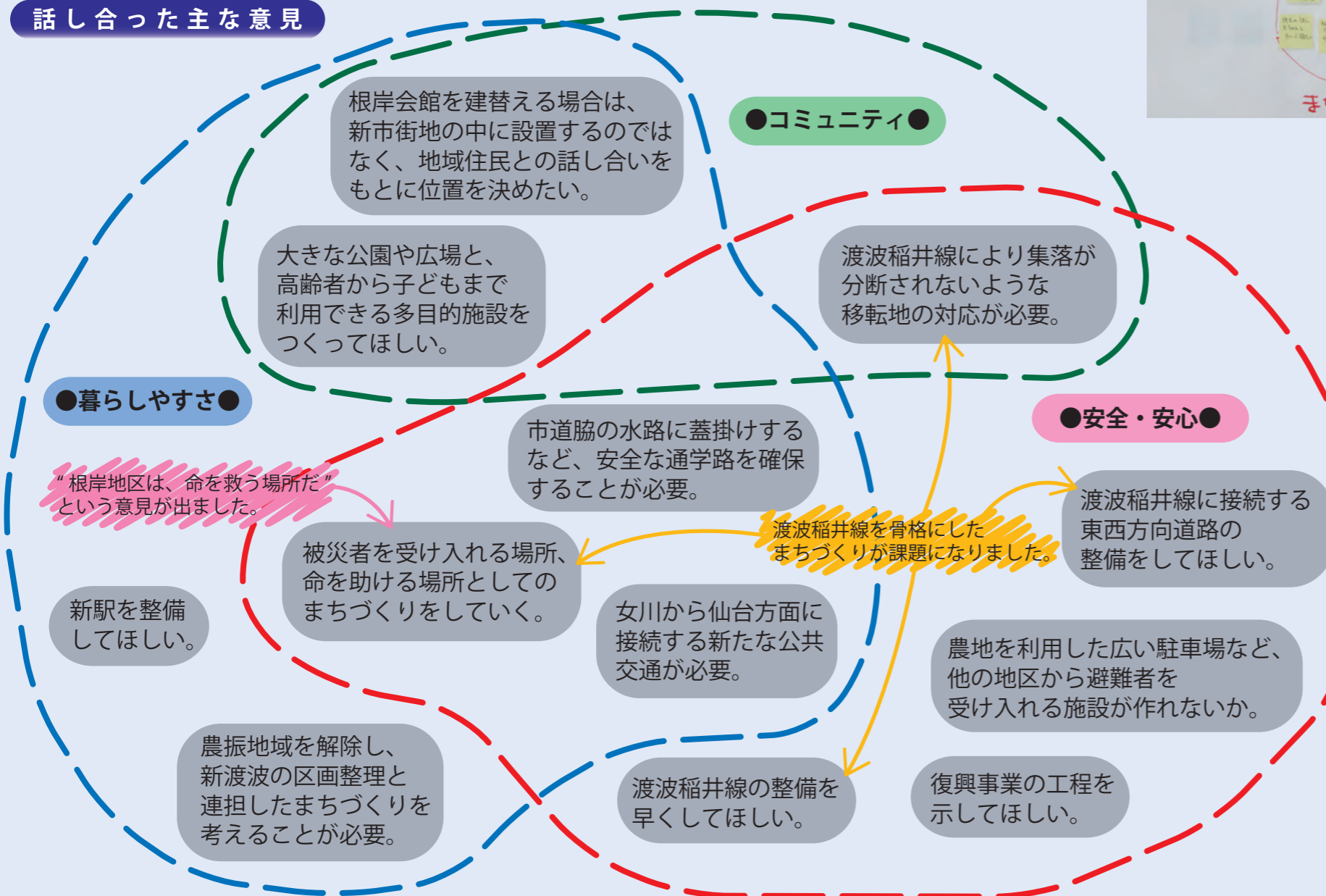


**意見交換会の様子**



**第2回意見交換会を開催しました【平成26年2月21日（金）会場：根岸会館 住民出席者：20人】**

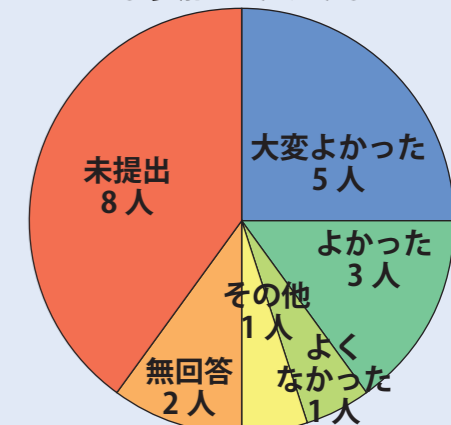
**話し合った主な意見**



**第2回意見交換会に参加した感想・意見等**

- ・自由に発言出来て大変良かった。皆様がいろいろな考えを持っていることを新たに発見でき、参考になった。当たり前だが、真剣に考えなくてはとつくづく思った。
- ・今回の震災で根岸地区に逃げてきた人が大勢いたが、道路の幅が狭く、暗く、田んぼに落ちてしまう人もいた。早くトンネルを作ってほしい。道路の拡幅をしてほしい。新しいまちづくりのために便利に暮らせるよう新駅を作ってほしい。根岸会館はみんなが集まるような大切な場所なので、近くにあった方がよい。北側に作ってほしい。消防署は前回の被害のない場所に作ってほしい。
- ・万石町から引っ越してきた。根岸の人達の思いがひしひしと伝わってきた。現況の生活の様子等、いずれにしても災害に強いまちづくりと住民のみなさんの意見を十分に参考にしながら創ってもらいたい。
- ・3.11で体験したことに基づいて、鹿松地区は流された家の人たちを受け入れる場所になったから、その人達の健康面のケアが大変だったので、これからは近くに何かあった時の連絡先をきちんと示してほしい。
- ・市役所の顔が見えない。もっと現場に出て市民の声を聞いた方がいいのでは？ 全て他人まかせに見えてならない。まず、各道路整備、各地区避難所、集会所、高台（山）、中学校から山側に避難する道路、JR、新駅。
- ・有意義な意見交換であると思う。今後は多くの意見をどのような形で具体化されるのか、早い時期にその方向性を示していただきたい。
- ・大きな災害時、渡波地区の災害本部施設をすみやかに住民に周知徹底できるように願う。
- ・土地区画整理で住宅地が出来るが、日常生活道路の計画が不足しているのでは？ 東消防署予定地の前の道路は現在も朝・夕混雑している。

**●参加してみても●**



その他回答：「わからない」